

# 3. 移動支援手法の検討

## (2) ハード整備による移動支援の検討

### 1) モノレール案

#### モノレール案の検討

若草山麓園地から展望スポットである若草山一重目まで、移動支援を行う。

・ 環境影響調査を実施

#### 平成26年2月10日 第7回奈良公園地区整備検討委員会

- ・ 県は、景観や文化財を所管する機関と相談を始める旨を説明。あわせて、景観、環境などの四季の調査を行っている「環境影響調査」の中間報告を行った。
- ・ 地区整備検討委員会からは、若草山のにぎわいづくり及び地域の活性化について、若草山に魅力の一つが増えるということは観光の間口が広がるとの意見をいただいたことから、今後は、若草山のにぎわいづくりについても、じっくりと議論をしていく方針を定めた。
- ・ また、地区整備検討委員会において、若草山の利用について**モノレールだけでなくいろいろなオプションを検証**し、移動支援及びにぎわいづくりについて、さまざまな意見を聞きながら進めることが必要との提言をいただいた。

#### 平成26年7月30日 第8回奈良公園地区整備検討委員会

- ・ 県は、寄せられた意見をもとに移動支援施設の整備の可能性を検討し、従前のモノレール案に加え、バスの運行案、気球によるフライト案について提案した。
- ・ 地区整備検討委員会からは、**構造物を伴わない範囲において総じてバス案を推す意見が多かったが、環境面、景観面、整備面などの課題についてしっかり議論していく必要があるとの指摘**をいただいた。
- ・ また、若草山の価値をわかってもらえる活用の検討が必要ではないかとの提言をいただいたことも踏まえ、検討の充実を図ることとした。

#### 平成26年12月15日 第9回奈良公園地区整備検討委員会

- ・ 県は、若草山一重目への移動支援施設について、以下の基本方針にそって**バス案の検討を進めることを報告**した。
  - ①若草山の自然環境の保存に努めることから、アスファルト舗装等は対象外であること
  - ②若草山の芝生や山肌の保存に努め、植生などの自然環境を活性化できるような対策工法について模索すること
  - ③その対策工法の結果、バスの走行が可能か否かを判断していくこと
- ・ 地区整備検討委員会からは、若草山移動支援のバス案の検討にあたっては、現在の若草山周辺の植栽等、自然環境の再生も含んだ検討をおこなう県の方向性について評価をいただいた。
- ・ また、バス案が若草山の移動支援に適切な手法かどうかを検討するプロセスを大切にしていくこととの提言をいただいた。

# 3. 移動支援手法の検討

## (2) ハード整備による移動支援の検討

### 2) バス案

ハード整備による移動支援手法について、若草山一重目までの移動支援手法としてのバス案の可能性を、走行ルートと工法の2点から検討した。

#### バス案の検討方針

- ・ 現況の管理車両通路と公園利用者の主要ルートをもとに「二重目」、「一重目」までの現況を調査する。
- ・ 現況の地形（現況道の平面・縦横断）から自然環境を損なわない走行ルートを検討する。
- ・ バスの緒元を踏まえ、走行ルートの幅員や転回場の範囲、位置を検討する。
- ・ 若草山の自然環境を保存できるよう、環境配慮型工法の導入を検討する。
- ・ 走行ルートと工法についての検討結果を照らし合わせて、バス案実現の可能性について評価する。

一重目

尾根筋の道

二重目

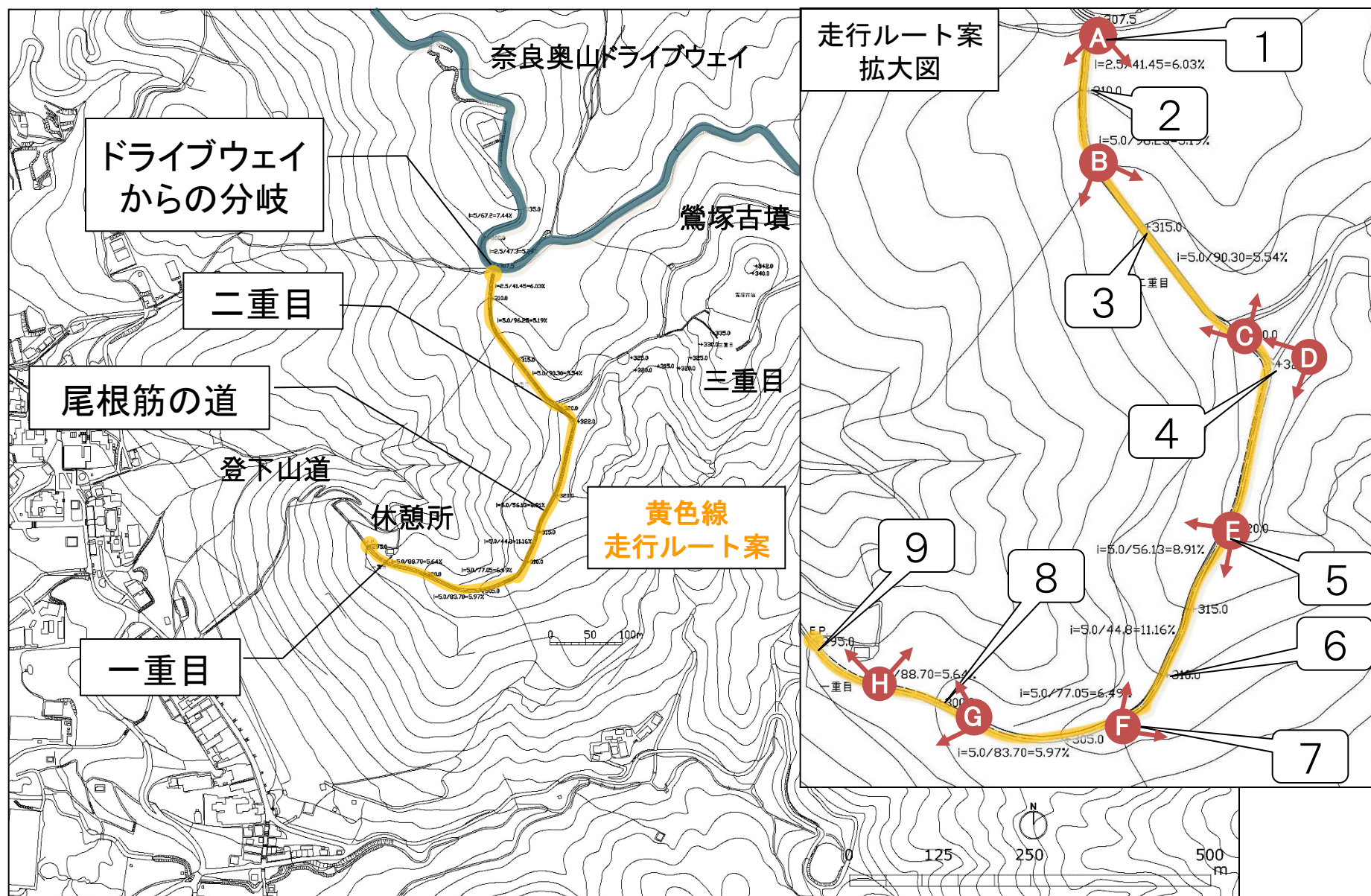
ドライブウェイ  
からの分岐



# 3. 移動支援手法の検討

## (2) 【 2 ） - 1 バスルート案の検討 】

### ① 現況平面および走行ルート案



# 3. 移動支援手法の検討

## (2) 【 2 ) - 1 バスルート案の検討 】

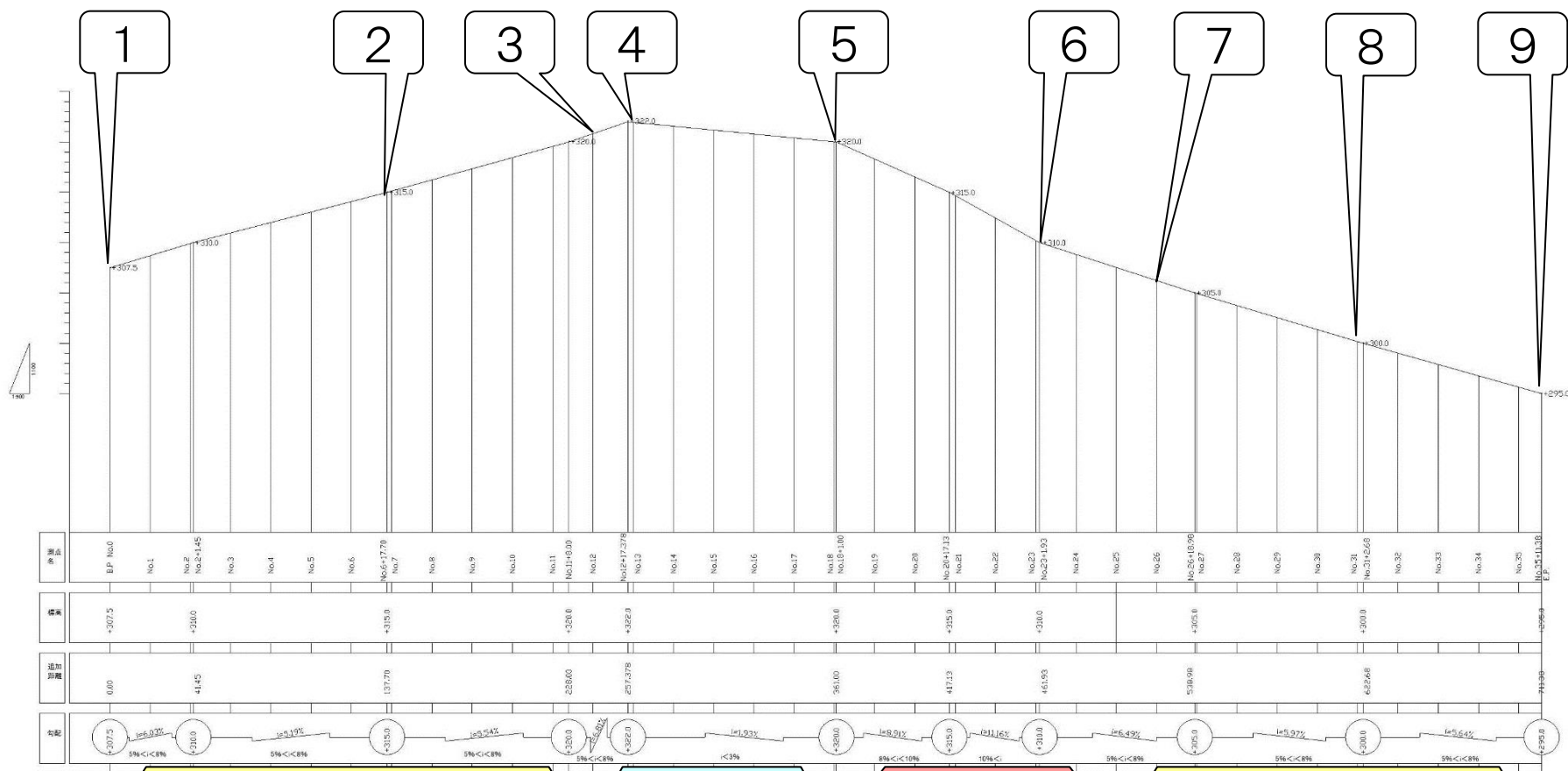
### ② 現況写真



# 3. 移動支援手法の検討

## (2) 【 2 ） - 1 バスルート案の検討 】

### ③縦断



ドライブウェイ分岐から二重目頂上までは6%程度の縦断勾配で、バス通行が可能

二重目頂上付近は勾配3%以下と平坦。転回場の設定とバス通行が可能

二重目～一重目は縦断勾配11%超のためバス通行が不可能

一重目付近は6%程度の勾配であり、バス通行は可能だが、二重目からの縦断勾配でバスアクセスが不可能

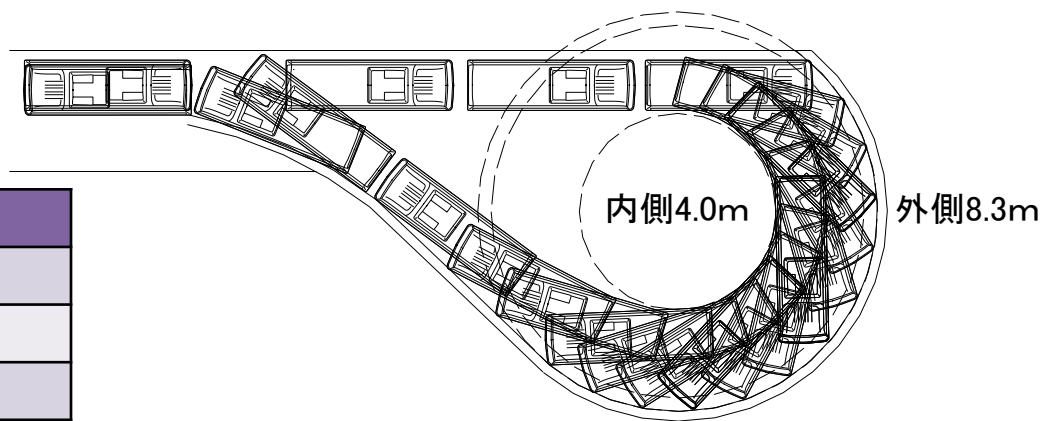
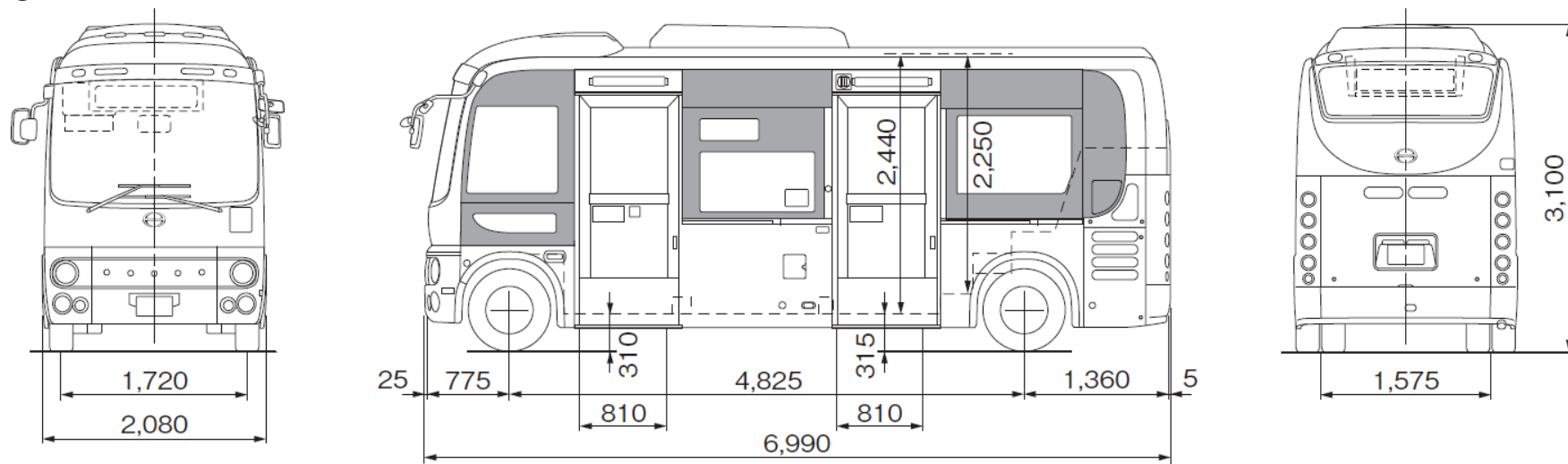


道路構造令に規定する普通道路の最大縦断勾配は9%であり、二重目以降はその限度を超えるため、バスの通行は不可能

# 3. 移動支援手法の検討

## (2) 【 2）-1バスルート案の検討 】

### ④車輻



最小回転半径  
外側前輪: 7.7m

緒元	内容
乗降扉	2扉
乗車定員	36人(座席11+立席24+乗務員1)
全長	6,990
全幅	2,080
ホイールベース	4,825
最小回転半径	7,700